

自然と親しみ・遊ぶ

草津やすらぎの森に響くセミの声!!

6月8日(土)草津やすらぎの森で76名の参加者と一緒に森林整備作業を行いました。

これまで2回、連合群馬が「草津やすらぎの森」の整備作業を行ってきました。その甲斐もあって、間伐によって木々が間引かれ、森に光が入って明るくなり、各種の草花も増えました。また、歩道と階段を作ったことで、いまでは訪れる人々の散策コースになっています。



今回は、さらに多くの人に、自然と親しんでもらえる森作りをめざして、遊歩道の整備を中心に作業を行いました。

そして、なんといっても今回の目玉は、地元のボランティアの方に協力を頂き、子供向けの体験学習を行ったことです。

子どもたちは、初めての体験に興味津々。最初はぎこちなかったノコギリを持つ手も、あっという間に大人顔負けの上達ぶり。あちこち見回すうちにセミを捕まえたり、羽化中のセミを見つけたりと大人とは違う視点で森を楽しみました。

参加された皆さん大変お疲れ様でした。

五月晴れの空の下で元気にプレー



優勝した新井さん

高退連(群馬県高齢退職者団体連合)は、5月15日(水)前橋市関根町の県総合スポーツセンター「ふれあいグラウンド」で、グラウンドゴルフ大会を開催しました。

グラウンドゴルフは、ゴルフをアレンジして考案された新しいスポーツで、場所を選ばず、簡単なルールで初心者でも手軽に楽しめることから、高齢者層を中心に全国的なブームになっています。

大会では、クラブを握るのが初めてという初心者から、全国大会の参加経験がある上級者まで、78名が参加し競技を楽しみました。

16ホールの熱戦を制した優勝者は、東武労組壮健会の新井清さん(写真)でした。

優勝 新井 清(東武壮健会 スコア30)
準優勝 笹沢ミサ(自治体退職者会スコア33)
三位 加納康男(自治体退職者会スコア33)



45334 45334



これ、つくったの

間伐材を使って階段作り、力仕事です。



地方分権に伴う行政上の問題点

議員懇学習会を開催

連合群馬議員懇談会では、去る5月22日(水)群馬県議会会館において、会員28名が参加し学習会を開催しました。

行政改革に伴い地方分権が進められている中、一向に財源委譲が行われず、ますます厳しさを増す地方財政の問題点について、明治大学政治経済学部「星野泉」助教授を講師に招き、ご講演いただきました。



この中で、星野助教授は「地方議会議員としては、歳出の部分は委員会での論議などを通じて目が行き届くが、歳入面になかなか目が行き届かない。歳入・歳出のバランスの取れた予算運営が重要である。」と力説されていました。



星野 泉(政治経済学部)助教授の講演に熱心に聞き入る。